

小径部品の開発から 量産までお手伝い センターレス加工を極めた技術集団



小径部品の製造はお手のもの

のようなサイズを量産できる技術を持つ企業は、国内でも数少ない。

過去には、電子部品の製造に欠かせない段付きピンの一発加工技術（フランクから完成まで3工程以上かけていた段付き加工を、1工程で同時に高精度で加工する技術）が、横浜市経済局研究開発助成事業に認定された実績を持つ。

「当社は、加工径だけでなく、様々な製品の長さ、形状、材質についても加工技術を持っています。設計中に製品特性に問題が発生した場合等、製品材質を見直したい企業、求めているサイズが入手できないと悩んでいる企業がいらっしゃったら是非とも相談して欲しい」と話す大野社長。

今後は、2011年に出版したMEDTEC JAPANで好評だった技術を、医療分野で活かすべく、従業員の技術指導になお一層力を入れ、医療関連の企業との取引を増やしていく方針である。

アルファテック（横浜市緑区白山、大野和実社長、045・935・0650）は、小径部品専門のセンターレス加工メーカーで、放電穴開け加工用電極、液晶パックライト電極、プリンターワイヤ、コンタクトプローブ等、幅広い分野で使用される部品を取扱っている。

他社では、大半の製品は直径1mmまでが製造限界となってしまうが、同社は最小30μm（髪の毛は60μm）のストリートピンの加工ができることが強みであり、こ